

誰もが求める人と人とのつながり

～映画「隣^{とな}る人」から人に寄り添う意味を考える～

様々な事情で、家庭での日常を過ごすことができない子どもたち。そんな子どもたちに寄り添い続ける児童養護施設「光の子どもの家」の保育士と、子どもたちとの日常を追ったドキュメンタリーを鑑賞いただきます。そして、日本の社会福祉の先駆的な「感化院」施設（現児童自立支援施設）を創設した留岡幸助の理念を受け継ぐ児童養護施設「東京家庭学校」の松田施設長をお迎えして対談を行います。

どんな状態であっても自分を丸ごと受け止め、愛情を注いでくれる人がそばにいてくれるということの幸せ。実はそれは、子どもだけでなく大人も同じかもしれません。家族のつながり、人と人とのつながりの希薄化が問われる昨今、優しい眼差しにあふれた映画から、家族とは何か、人に寄り添うとはどういうことか、と一緒に考えたいと思います。

日時：2016年12月26日（月） 18:45（開場） 19:00～21:30（上映・対談）

会場：日比谷図書文化館 スタジオプラス（小ホール）（住所・地図は裏面参照）

参加費：2,000円（当日受付にて現金でお支払いください）

※ お申し込み方法・詳細は裏面参照

対談『子どもに寄り添うということ』

話し手：松田 雄年（まつだ・たけとし）氏（児童養護施設 東京家庭学校 施設長）

聴き手：高橋 陽子（公益社団法人 日本フィランソロピー協会 理事長）

隣^{とな}る人
never let me go.

親と暮らせない子どもたちと、隣り合う保育士たち。
そして、子どもとふたたび暮らすことを願う親。
ある児童養護施設の日常を追う8年間のドキュメンタリー。

刀川 和也 監督作品

企画：稲塚 由美子 撮影：刀川 和也・小野 さやか・大澤 一生 編集：辻井 深 構成：大澤 一生
プロデューサー：野中 章宏・大澤 一生 製作・配給：アジアプレス・インターナショナル
日本/2011/SD/カラー/日本語/85分/ドキュメンタリー

山形国際ドキュメンタリー映画祭ニュー・ドックス・ジャパン部門招待作品

文部科学省選定（青年向き・成人向き）

厚生労働省社会保障審議会 特別推薦

第9回文化庁映画賞・文化記録映画部門大賞

第37回日本カトリック映画賞

